



2023年度

(2022年10月～2023年9月)



®環境省
エコアクション21
認証番号0010767

環境経営レポート

発行日:2023年11月20日



東北警備保障株式会社

〒992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808番地17

TEL0238-29-0005 FAX0238-29-0015

<http://www.next-alert.co.jp>



～ 目 次 ～

1. 環境経営方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p1
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・	p2
2-1. 事業者名及び代表者氏名	
2-2. 所在地	
2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先	
2-4. 設立年月日	
2-5. 資本金	
2-6. 事業活動の内容と対象サイト（認証・登録範囲）	
2-7. エコアクション21実施体制	
2-8. 事業の規模	
3. 環境経営目標とその実績・・・・・・・・・・	p3～10
3-1. 環境負荷の現状（2020年度環境負荷自己チェック結果より）	
3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況	
4. 環境経営計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・	p10～11
4-1. 環境経営計画の取組状況の評価	
4-2. 次年度の取組内容	
5. 環境関連法規等の順守状況，訴訟等の有無・・・・・・・・・・	p12
5-1. 適用を受ける環境関連法規等とその順守状況	
5-2. 訴訟等の有無	
6. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果・・・・・・・・	p12



かねたん 米沢市マスコット
キャラクター

米沢市は、上杉家家臣で文武兼備の智将として名高い直江兼続（なおえかねつぐ）ゆかりの地です。



私たちは、SDGsとの関連性を強く意識して
EA21の取組を推進していきます。



東北警備保障株式会社

環境経営方針

<基本理念>

東北警備保障株式会社は、警備業務、施設管理、清掃業務等の事業活動を行っていますが、その過程において、化石燃料や電力などのエネルギーを消費し、廃棄物の発生も伴います。環境関連法規等を順守しつつ、それらの環境負荷を楽しく低減できるしくみを構築運用しながら、さらに、それを地域全体に広めてまいります。たとえ自らの取組の成果は小さくても、その活動が連鎖的に広まっていけば、やがて大きな削減効果へとつながっていくものと確信しています。

私たちは、暮らしの安全・安心を担う企業として、地域の環境保全が重要な経営課題であることを認識し、次世代に美しい自然を残せるよう、企業の社会的責任を果たしてまいります。

<行動指針>

- § 地球温暖化防止のため、楽しい節電・省エネの取組を考え、実行します。
- § お客様の環境負荷の削減につながる取組を提案し、実践します。
- § 環境と安全に配慮した運転を心がけます。
- § 環境関連法規等を順守します。
- § 社内の整理整頓を心がけ、身近な環境保全を見失わないようにします。
- § 様々な環境情報を発信し、お客様との共有化を図ります。
- § SDGs（持続可能な開発のための2030アジェンダ）を意識しつつ、環境問題を幅広く捉えて、行動していきます。
- § 環境経営システムを定期的に見直し、継続的に改善していきます。

制定日 : 2014年10月1日
最終改定日 : 2020年11月16日



東北警備保障株式会社

代表取締役 武田誠一郎



2. 組織の概要

2-1. 事業所名及び代表者氏名

- 東北警備保障株式会社
- 代表取締役 武田 誠一郎

2-2. 所在地

- 本 社：〒992-0119 山形県米沢市アルカディア1丁目808番地17

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者 漆山 裕
- 連絡担当者 遠 藤 智 広
- 連絡先：TEL 0238 - 29 - 0005 FAX 0238 - 29 - 0015
- Email：tomohiro_endo@next-alert.co.jp

2-4. 設立年月日

- 1972年（昭和47年）2月26日

2-5. 資本金

- 1, 0 0 0 万円

2-6. 事業活動の内容と対象サイト （認証・登録範囲）

- 事業活動：全活動
交通誘導及び雑踏警備に関する業務、建物及び設備の警備・保守・清掃等業務、指定管理業務、防犯・防災グッズ販売
- 対象組織：全組織（警備統括部門・営業事務企画統括部門・指定管理部門）
- 対象サイト：本社・指定管理施設

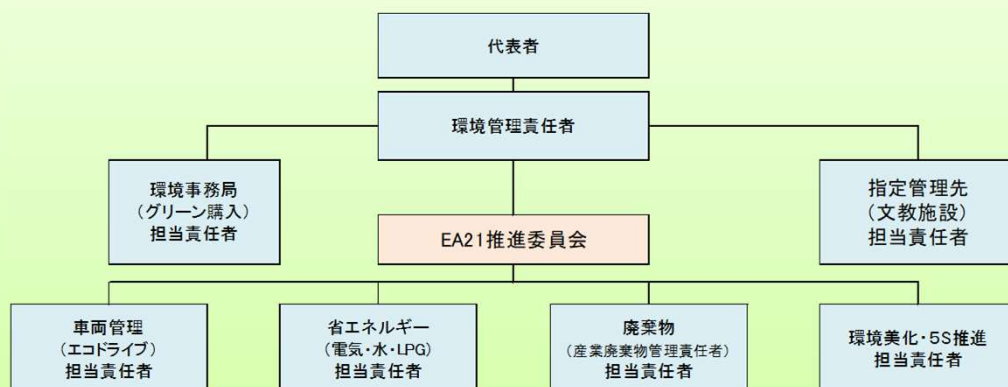
※対象組織は、業務受託現場に常駐する社員も含めた全社員とします。また、本社に常駐するグループ各社（ネクスト環境コンサルタント・セキュリティプレシヤス）の社員にも取組への協力を求めることとします。

※対象サイトについては、本社ならびに指定管理施設とします。ただし、指定管理施設における取組については、その契約内容に応じて、可能な範囲で行うこととします。



社屋全景。1階は系列会社のネクスト環境コンサルタントが使用しています。2階は事務室等で主に当社が使用しています。2021年2月に増築工事（写真左奥）が完成しました。

2-7. エコアクション21実施体制



2-8. 事業の規模

活動規模	単位	2019年度 (2018.10～ 2019.9)	2020年度 (2019.10～ 2020.9)	2021年度 (2020.10～ 2021.9)	2022年度 (2021.10～ 2022.9)	2023年度 (2022.10～ 2023.9)
売上高	千円	378,106	395,701	411,135	439,707	474,961
従業員(対象／全体)	人	74	76	85	96	93
床面積(1, 2階合計)	m ²	350.0		601.8		
床面積(2階部分)	m ²	172.2		299.5		
※売上高は、当社会計年度(10～9月)に合わせて集計。また、従業員数は各年度10月1日時点での在籍人数 (短時間労働者を0.5人で計算)。						

3. 環境経営目標とその実績



3-1. 環境負荷の現状(2023年度環境負荷自己チェック結果より)

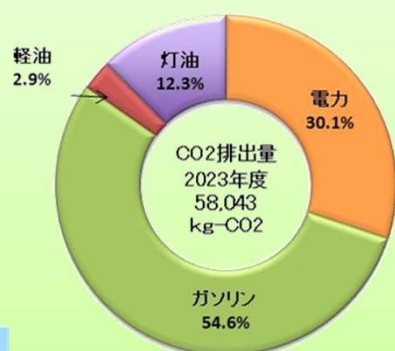
■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、東北電力の2021年度調整後排出係数(0.488 kg-CO₂/kWh)を用いています。

※電力使用量については、当社が主に使用している2階スペース使用分を対象としました。なお、1階(実験室等)は系列会社であるネクスト環境コンサルタント(株)(以下「ネクスト」と略)が主に使用しています。ガソリンはすべて当社使用分です。灯油は暖房用、LPGは給湯用です。軽油は除雪機用ですので、厳密には単独使用ではありませんが、使用割合、管理主体から判断して、当社の負荷とします。なお、LPGに関しては、増改築後、ネクストと一括計量となったため、使用量が多い、ネクストで計上することとしました。

- 1) 当社における2023年度(2022.10～2023.9)のCO₂排出量は、合計58,043 kg-CO₂となっており、2022年度比で1.6%減少しました。これは、平均的な一般家庭約16軒分の排出量に相当します。 ※2021年度1世帯あたりの平均年間排出量: 3,730kg-CO₂(出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2) 当社から排出されるCO₂の70%は化石燃料の使用に伴うもので、その中でもガソリンが31,707 kg-CO₂で全体の55%を占めていることが判りました。次いで、電力使用に伴うものが17,480 kg-CO₂で30%、灯油が7,166 kg-CO₂で12%となっていました。
- 3) ガソリンは、警備業務あるいは営業車両の運行に伴い消費され業務量に比例して増加します。
- 4) 月別のCO₂発生量は12月～3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、暖房用の灯油と除雪機の燃料である軽油の消費量が増加するためです。電気使用量も冬期間に増加する傾向が見られます。
- 5) 以上のことから、車両運行に伴うガソリンの消費や事務所での電気ならびに灯油使用量をいかに減らしていくかが取組の重点課題となります。

<二酸化炭素排出源(2023年度)>



<月別二酸化炭素排出量(2023年度)>



■ 廃棄物排出量

1) 一般廃棄物：※ネクスト排出分を含む

年間の総排出量は1,147 kgとなっています。2022年度比で8.8%増加しました。可燃ゴミ（焼却）の排出割合が最も多く、684 kg（60%）を占めていました。以下、紙類（新聞・雑誌類等）が145kg（13%），段ボールが275 kg（24%），不燃ごみ（埋立）が12kg（1%）などとなっています。紙類，ダンボール，空き缶，ペットボトルは再資源化されています。

2) 産業廃棄物

本年度の産業廃棄物の排出量は432 kgで，昨年度から13%増加しました。機械警備契約先でのセンサー設置工事などで生じた混合廃棄物が210 kgと最も多く49%を占めています。同じく工事に伴う廃プラ（配線くずなど）は98 kg（23%）排出しています。

■ 総排水量（水使用量）：※ネクスト使用分を含む

本年度は489 m³を使用し，昨年度より，1.6%減少しました。地下水等の利用はないことから，上水使用量と総排水量は等しくなります。ネクストで器具洗浄用水として使用する他は，ほぼ生活用水ですが，若干洗車にも使用しています。

■ 化学物質使用量

PRTR対象化学物質の使用はありません。

3-2. 環境経営目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら，環境負荷の自己チェック結果を踏まえ，6項目（二酸化炭素，廃棄物，水，製品・サービス関連，地域貢献対応項目）について，環境経営目標（単年度目標&3年間の中期目標）とその達成に向けた環境経営計画を策定し，取組みを行いました。達成状況は下記のとおりです。

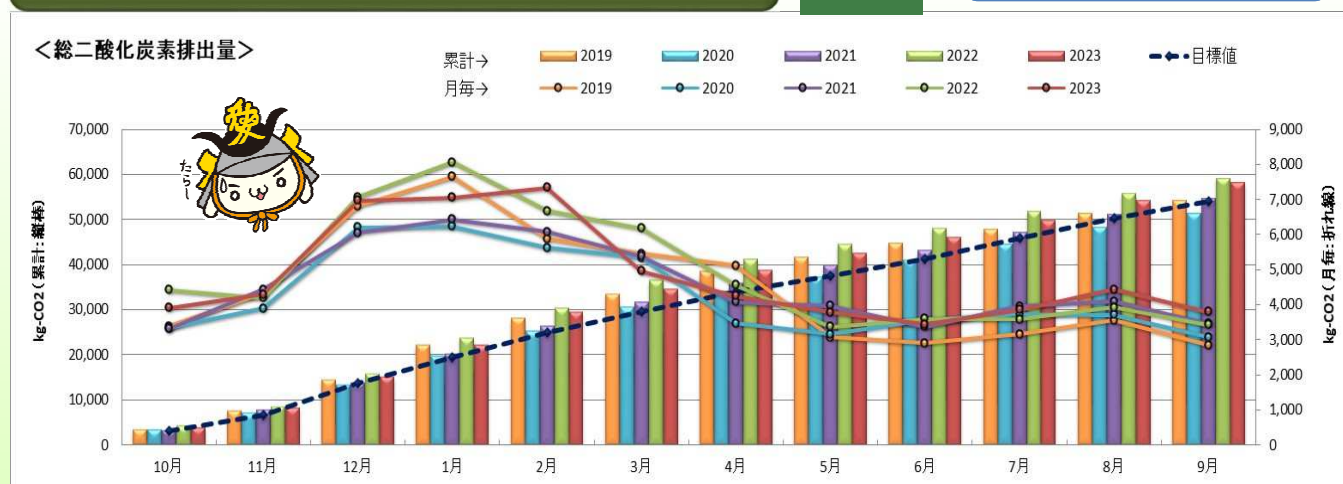
■ 総二酸化炭素排出量

【2023年度目標】 2015年度比40%削減

【中期目標（2023～2025）】 2015年度比42%削減



基準年度より削減したが
目標には届かず…



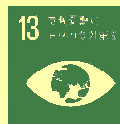
- 2015年度実績：90,134 kg-CO₂
- 2023年度目標：54,080 kg-CO₂
- 2023年度実績：58,043 kg-CO₂
- 増減量：-32,091 kg-CO₂
- 増減率：-35.6%

二酸化炭素排出量と連動する電力，ガソリン，軽油，灯油の要素が絡んでいます。（個別の評価は各項目のコメント欄を参照下さい）増改築後，電気使用量など概ね前年度並みに推移し，ガソリン使用量の減少により，目標には若干届かなかったものの，総二酸化炭素排出量は削減することができました。過去最大の排出量であった2015年度と比較して36%の削減となっています。

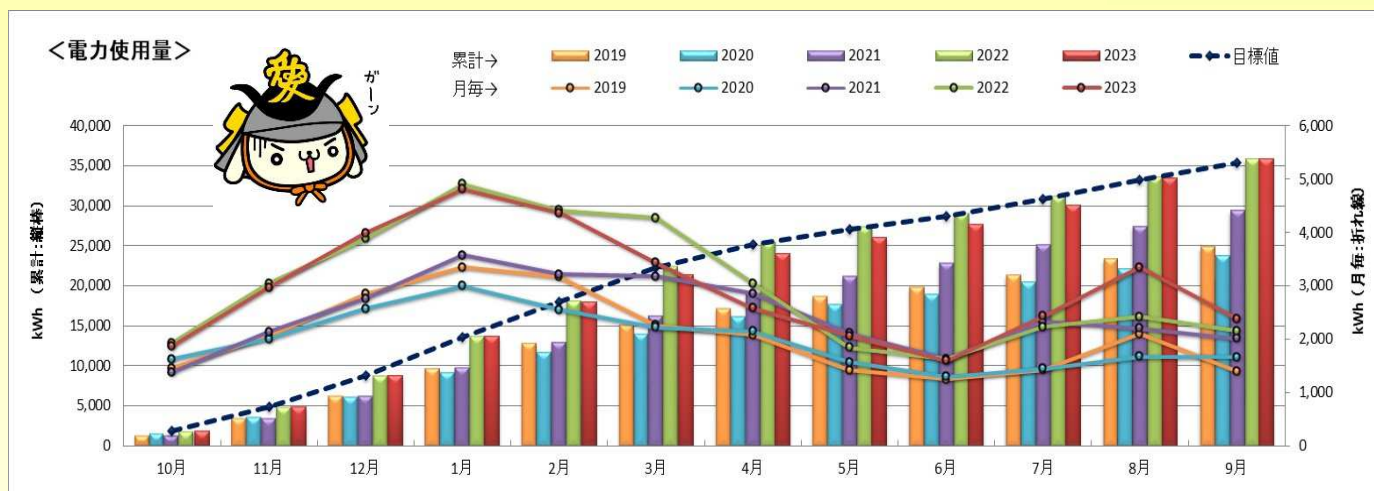
電力使用量

【2023年度目標】 2022年度比1%削減

【中期目標(2023~2025)】 2022年度比3%削減



目標未達...



- 2022年度実績：35,755 kWh
- 2023年度目標：35,397 kWh
- 2023年度実績：35,819 kWh
- 増減量：+64 kWh
- 増減率：+0.2%

増改築後の2022年度実績値を基準に無理のない範囲で目標値を設定しました。7月までは順調に推移していましたが夏場の猛暑で冷房による環境負荷が増加し、目標未達となってしまいました。

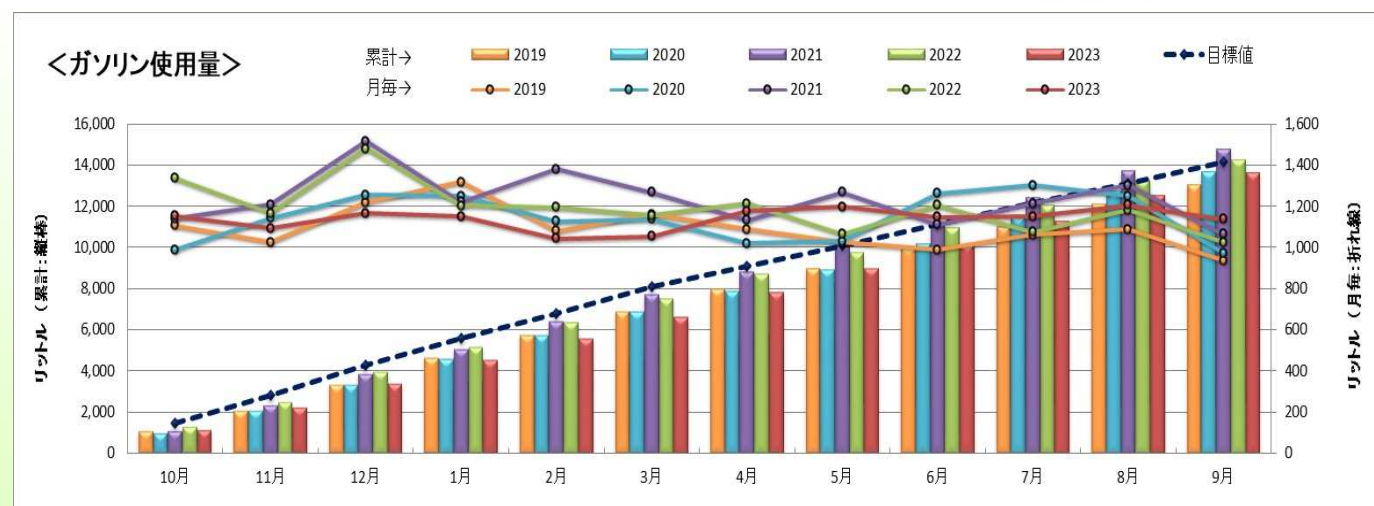
ガソリン使用量

【2023年度目標】 2016年度比51%削減

【中期目標(2023~2025)】 2016年度比53%削減



目標達成!



- 2016年度実績：28,907 ℓ
- 2023年度目標：14,167 ℓ
- 2023年度実績：13,667 ℓ
- 増減量：-15,240 ℓ
- 増減率：-52.7%

2021年度をピークに2年連続で減少しています。業務での移動距離が減少していること、社員が退職し、その補充ができないために、業務車両1台の稼働率が低下していることが要因として考えられます。正直あまり喜べる状況ではありません。

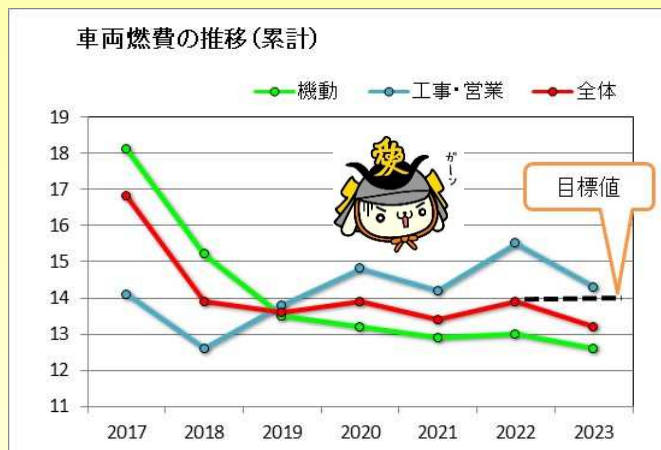
■ 車両燃費向上

【2023年度目標】 2019年度比3%向上

【中期目標(2023~2025)】 2019年度比5%向上

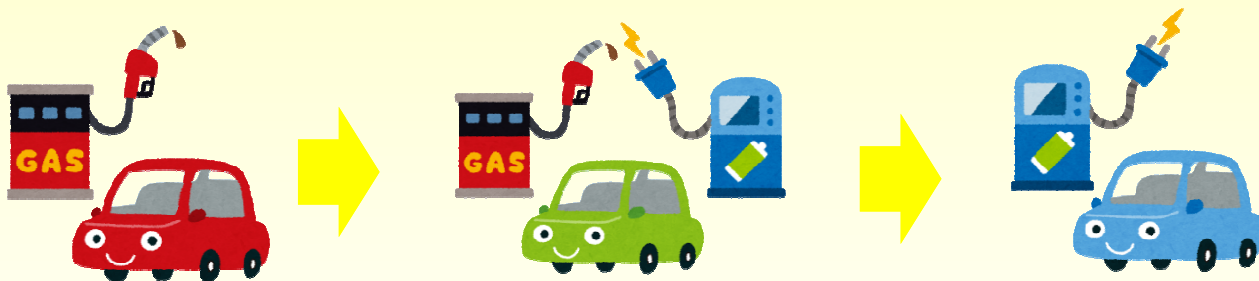


目標未達...



- 2019年度実績 : 13.6 km/l
- 2023年度目標 : 14.0 km/l
- 2023年度実績 : 13.2 km/l
- 向上率 : -2.9% (低下)

部門別にみると機動が12.6km/l, 工事・営業が14.3km/lと差があることが分かりました。機動部門の車両は4駆車両なので、燃費に差がでるものと思われます。雪道での安心走行のため、やむを得ないと思いますが、一層、エコドライブを徹底したいと思います。



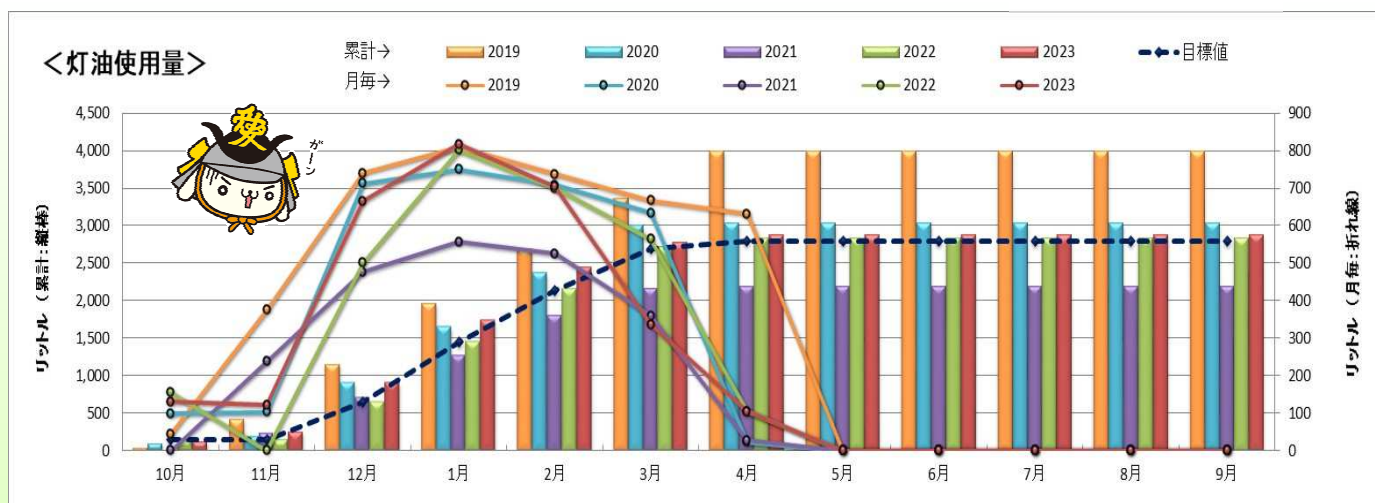
■ 灯油使用量

【2023年度目標】 2022年度比1%削減

【中期目標(2023~2025)】 2022年度比3%削減



目標未達...

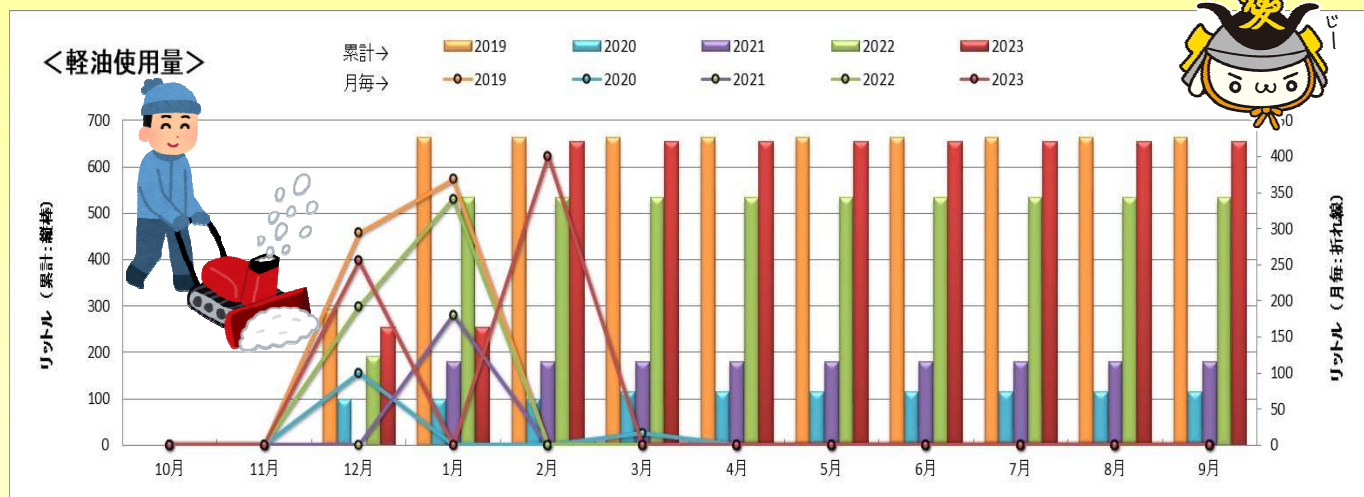


- 2022年度実績 : 2,822 ℓ
- 2023年度目標 : 2,794 ℓ
- 2023年度実績 : 2,878 ℓ
- 増減量 : +56 ℓ
- 増減率 : +2.0%

増改築後は、床面積も増え、暖房に使用する灯油も増加傾向にあるようです。今年度は目標値設定のためのデータ把握の年度と位置付けることにします。



軽油使用量



- 2014年度実績: 1,888 ℓ
- 2023年度実績: 655 ℓ

除雪機の燃料に使用しています。降雪量により変動するため、目標設定は行っていません。2022年12月に比較的多くの降雪があり、2023年度は積雪は例年より増加しました。次年度以降、除雪業務の契約先が増えたので使用量は増加する見込みです。



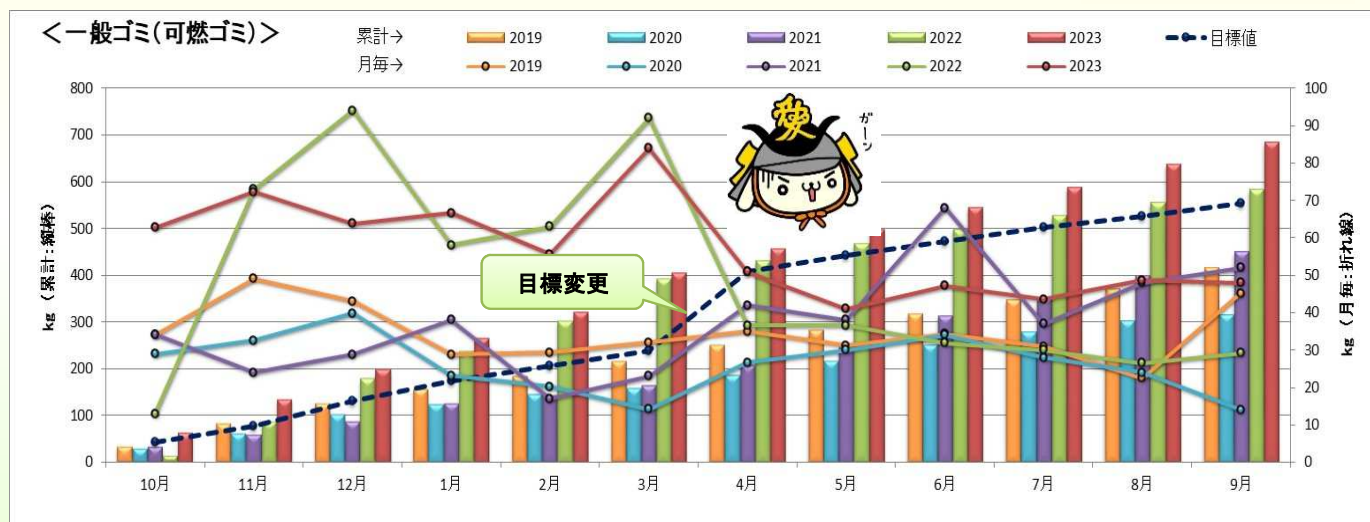
一般廃棄物排出量 (可燃ごみ)

【2023年度目標】 2015年度比20%削減
⇒ 2022年度比5%削減 (目標変更)
【中期目標 (2023~2025)】 2022年度比7%削減



変更後の

目標未達...



- 2022年度実績: 584 kg
- 2023年度目標: 555 kg
- 2023年度実績: 685 kg
- 増減量: +101 kg
- 増減率: +17%

ネクストで排出した分も含まれています。昨年度以降、増加傾向が続いています。原因は良く分かりませんが、ネクストと案分していることから、ネクストでの発生量が増加しているのではないかと考えられます。発生する可燃物の種類として、シュレッダーごみの割合が比較的多くなっています。

産業廃棄物排出量 (対象: 混合廃棄物)

- 2023年度目標: 設定しない
- 2023年度実績: 210 kg

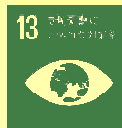
客先での工事の際に排出するものがほとんどであり、事実上管理削減するのは難しい状況です。目標の設定はせず、分別収集の取り組みを行っていきます。今期は、混合廃棄物を210kg排出しました。昨年度 (60kg) に比して大幅に増加しました。



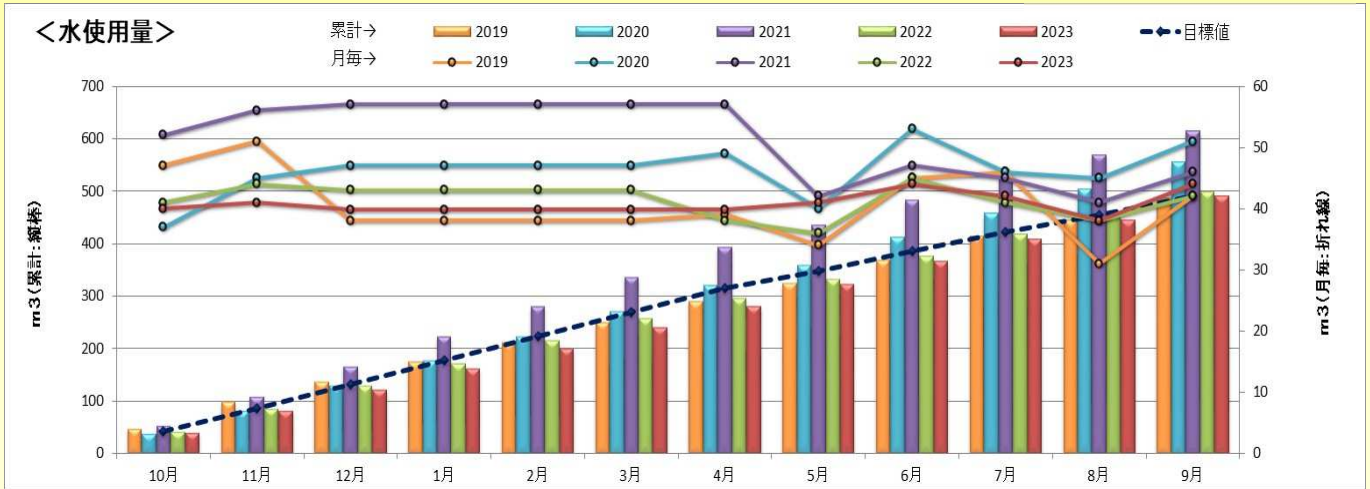
■ 総排水量（水使用量）

【2023年度目標】 2021年度比20%削減

【中期目標(2023~2025)】 2021年度比22%削減



目標達成!



- 2021年度実績: 614 m³
- 2023年度目標: 491 m³
- 2023年度実績: 489 m³
- 増減量: -125 m³
- 増減率: -20.4%

ネクストで使用量した分と合算での評価となっています。ネクストでの業務量が増えていること、また、増員しているため、使用量の増加が予想されていましたが、昨年度以降、比較的落ち着いた状況で推移しています。節水型のトイレやシャワー型節水ノズルの導入などの効果も考えられます。



■ 製品・サービス関連

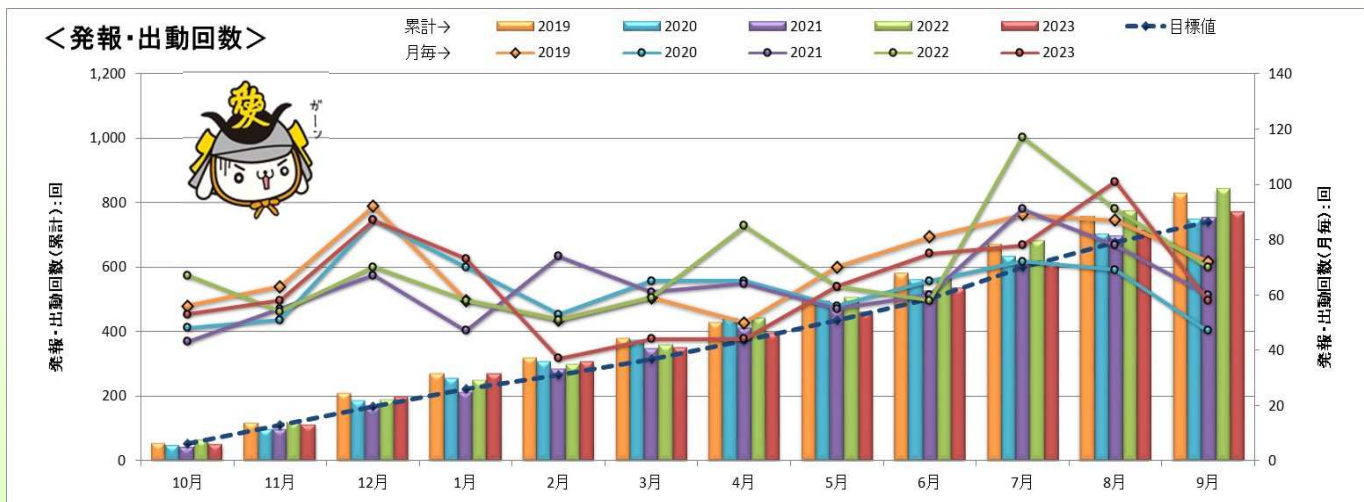
1) 誤作動による出動回数の削減

【2023年度目標】 2016年度比8%削減

【中期目標(2023~2025)】 2016年度比10%削減



基準年度より削減したが目標には届かず...



- 2016年度実績: 806 回
- 2023年度目標: 742 回
- 2023年度実績: 771 回
- 増減量: -35回
- 増減率: -4.3%

毎年夏場に発報回数が増加するのは、虫の飛来等によるセンサーの誤動作が大きな要因となっており、今年度は8月がピークになっています。しかし、昨年度（7月）ほどの増加にはならず、全体の出動回数も昨年よりは減少したものの目標にはわずかに達しませんでした。センサーの劣化が原因となる場合も多く、抜本的な対策は、センサー交換しかないのが実情です。

2) 社内報（東警だより）の発行

年4回季節ごとに社内報「東警だより」を発行しています。現場に常駐する社員が多いことから、今後とも社内報や警備業法による教育の機会を活用し、環境コミュニケーションならびに情報の共有化を図っていきます。このレポート中にも社内報に掲載された記事を掲載しています。

社員のみなさん、お客様にも様々な環境情報を発信していきます。



エコアクション21

料理でエコアクション

鍋に残った熱を利用する「保温調理」と「余熱調理」は、加熱時間が短く済むうえ、火を消しておけるので、キッチンから離れることもできるのが利点。

おなじみの肉じゃがも、保温調理で作れば、じゃがいもが煮崩れすることなく、ホクホクに煮あがります。

茶わん蒸しも余熱を利用すれば、蒸し器いらずで、難しい火加減も不要です。

煮物やスープには特に適している調理法です。

おなじみの料理も保温・余熱調理で CO2 大幅削減になります。

エコアクション21

ほかほか「冬のエコスタイル」で地球温暖化防止

冬は夏よりもエネルギー消費量が増加します。これは、冷房より暖房の方がより多くのエネルギーを消費するためです。温室効果ガスの排出を抑え地球温暖化を防止するため、「冬のエコスタイル」実践してみてもいい？

- ・暖かい服装で過ごす
- ・みんなで一つの部屋・場所に集まってウォームシェア
- ・温かい食べ物や飲み物で体を温める
- ・厚手のカーテンを使用して窓から熱を逃さない
- ・暖房時は室温20℃を目安に
- ・家電を買い換えるなら「省エネ家電」を選択する
- ・軽いストレッチや運動で体を温める



エコアクション21

～周辺ゴミ拾い実施～

4月3日に積雪の為に休止しておりました会社周辺ゴミ拾いを、約5か月ぶりに実施しました。会社隣の公園では、たばこの吸殻やペットボトルなどが多く見受けられましたが、清掃後はとてもきれいになりました。今後も近隣の清掃活動を継続し、社員の環境への意識を高めていければと思います。

エコアクション21

～ 個人ができるSDGsへの取り組みについて～

- 節電**・・・節電に取り組むことで、発電に使用する際の資源消費や、温室効果ガス発生抑制へとつながります。
- 節水**・・・水を無駄なく効率的に使用することで、今後起こり得る水不足への対策となり持続可能な水の利用へとつながります。
- 紙の削減**・・・紙製品は主に森林資源を使用し作られており、過度な紙製品の使用は、森林伐採による環境破壊や温暖化、生態系への破壊へとつながります。
- フードロス**・・・世界で生産されている食品の約3分の1（13億トン）が廃棄されており、フードロスは大きな問題です。

他にもありますが、私たち一人一人が日常生活において少し意識を変えるだけで、SDGsのさまざまな目標達成へと貢献できます。出来ることから始めてみませんか？



■ 地域環境保全活動

1) 環境保護団体への協力

山形県と山形県地球温暖化防止推進センターが進める「山形県地球温暖化対策推進事業所」に登録しています。



2) 会社周辺の清掃・美化活動（ごみ拾い・みどりのカーテン等）

年2回、会社周辺の草取りとごみ拾いを実施しています。また、南側の窓には、毎年「みどりのカーテン」を植栽しています。



4. 環境経営計画と取組結果並びに次年度取組内容



4-1. 2023年度（2022年10月～2023年9月）環境活動計画と取組結果

＜評価判定の目安＞

○…実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。

△…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。

×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。（是正処置の対象）

環境目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのように)	実施時期 (いつまでに)	場所・対象者 (どこで)	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	備考、是正処置 の必要性等
二酸化炭素排出量の削減	■消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	冷暖房期間	事務所等	○	○	○	○	随時、温度計でチェック
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	暖冷房期間	事務所等	○	○	○	○	気づいたらつける
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	冷暖房期間	事務所等	○	○	○	○	気づいたら消す
		■定期的にエアコンのフィルターの清掃と点検	11・2・5・8月	事務所等	○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■不要な照明は消灯	通年	事務所等	○	○	○	○	気づいたら消す
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	夏期	全社員	○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	冬期間	全社員	○	○	○	○	朝礼等で声かけ
		■パソコンは省エネモードで使用	通年	事務所等	○	○	○	○	3ヶ月ごとに設定をチェック
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	夏期(通年)	トイレ	○	○	○	○	随時設定をチェック
		■「見える化」の推進(電力使用量等の掲示)	毎月	事務所等	○	○	○	○	更新時期等周知
	■ガソリン・軽油使用量の削減 ※製品・サービス 関連目標	■エコドライブの教育研修	1月	運転者全員	○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■エコドライブ自己評価を実施(チェック表による)	10, 1, 4, 7月	運転者全員	○	○	○	○	チェック表の回収・記録
		■燃費・走行距離の把握(車両日報の記入)	通年	運転者全員	○	○	○	○	記載状況の確認
		■5000km(6ヶ月)ごとにオイル交換、10000km(1年)ごとにエレメント交換(ハイブリッド車は別途規定する)	通年	車両	○	○	○	○	伝票と車両日報
		■適切な時期でのタイヤ交換	4月・11月	車両管理者	○	○	○	○	車両日報
		■適切な空気圧の維持	通年	車両管理者	○	○	○	○	車両日報
		■エコタイヤの導入	通年	業務管理者	○	○	○	○	車両日報
		■不要な荷物を乗せたままにしない	通年	車両管理者	○	○	○	○	定期的な確認
		■業務の効率化(車両運行ルート等の管理)	通年	業務管理者	○	○	○	○	朝礼等で確認
		■計画的な低燃費車両への入れ替え	5カ年計画	全車両	○	○	○	○	代表者による見直しの記録
の削減と適正管理 廃棄物排出管理	■その他化石燃料の削減 (軽油・灯油・LPG)	■除雪機の運転条件の設定(積雪量等)	降雪期	業務管理者	○	○	○	○	推進委員会報告
		■ファンヒーターは厳寒期に区切られたエリアでのみ使用する	冬期間	事務所	○	○	○	○	随時声かけ
		■ファンヒーターは補助的に使用し、エアコン、ペレットストーブを優先する	冬期間	事務所	○	○	○	○	随時声かけ
		■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	通年	流し台	○	○	○	○	随時設定をチェック
	■一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■分別状況の確認	随時	事務所等	○	○	○	○	分別ルール(掲示物)作成
		■廃棄物置場の整理整頓	通年	廃棄物置場	○	○	○	○	定期的な確認
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	通年	全社員	○	○	○	○	適宜声かけ
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	通年	事務所	○	○	○	○	適宜声かけ
		■私的ごみの持ち帰り(コンビニ弁当容器等)	通年	事務所	○	○	○	○	適宜声かけ
		■一般廃棄物の排出量記録/シュレッダーごみの溶融処理	排出時	廃棄物置場	○	○	○	○	記録表をチェック
		■社内の整理整頓	随時	社内外	○	○	○	○	随時巡回確認
	■産業廃棄物の 適正管理	■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	通年	廃棄物置場	○	○	○	○	随時巡回確認
		■充電式乾電池への転換	通年	現場	○	○	○	○	推進委員会報告
		■マニフェスト・契約書類の管理	通年	事務所	○	○	○	○	6ヶ月毎に定期チェック
		■委託先の状況確認	奇数年度6月	委託先	○	○	○	○	環境コミュニケーション記録

総排水量の削減	■水道使用量の削減	■「節水」の監視強化	通年	流し台	○	○	○	○	NEXTと共同で実施
		■掲示物の更新	随時	流し台・トイレ	○	○	○	○	NEXTと共同で実施
グリーン購入	■グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定品(エコ商品)の選定	物品購入時	事務所	○	○	○	○	随時情報収集
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	3ヶ月ごと	事務所	○	○	○	○	3ヶ月毎にデータ収集
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践	購入時		○	○	○	○	EA21推進委員会で報告
(製品自主設定項目連)	■環境情報の発信と情報の共有化(社内報の発行等)	■情報の収集・原稿等の依頼(社内・社外)	随時		○	○	○	○	朝礼・ミーティング時を活用
		■社内報の発行	年4回(10,1,4,7月)		○	○	○	○	スケジュール表で管理
		■自社HP等の更新	随時		○	-	-	-	EA21推進委員会で報告
	■誤作動による出動回数の削減	■過去の異常発信データの解析と原因分析	通年		○	○	○	○	EA21推進委員会で報告
		■改善策の検討と実施	通年		○	○	○	○	EA22推進委員会で報告
		■計画的なセンサー交換	通年		○	○	○	○	EA23推進委員会で報告
地域貢献活動	■環境保護団体への協力	■「NPO環境ネットやまがた」の支援・協力	通年	事務所	○	○	○	○	「家庭のアクション」への参加
	■会社周辺の清掃活動	■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	年2(冬季間無)	会社周辺	○	-	○	-	環境コミュニケーション記録
	■敷地内緑化の推進	■フラワーポットに花を植える	年3回	会社敷地内	-	-	○	-	環境コミュニケーション記録
	■バイオマスの活用	■ベレットストーブの活用	冬期間	事務室	○	○	-	-	
備考	【是正のルール】「×」は即是正、「△」は3回連続で是正とする。その他、環境管理責任者の判断によって、是正処置を実施する。								

【環境経営計画取組状況の総括】

2015年8月の認証登録以来、エコアクション21の取組みも8年が経過し、設定した活動計画の取組みは、社員にほぼ定着し、当たり前になってきているように感じます。裏を返せば、マンネリ化しているとも言えます。現在の取組み内容では、残念ながら、環境負荷(二酸化炭素)の削減という結果には、必ずしもつながっていないというのが現状のようです。「脱炭素化」、「RE100」などの「世の中の流れ」を意識しながら、もっとも環境負荷の大きいガソリンの消費量を削減すべく、計画的にEVシフトを進めていく必要があると感じています。また、マンネリ化を打破すべく、社員からの「新しく、効果的で、楽しい」取組みの提案を期待します。

4-2. 次年度の環境経営目標と環境経営計画の概要

■ 環境経営目標

- 1) 2023年度の取組みを通じて、増改築工事による環境負荷の増加の状況をほぼ把握できたことから、新たなベースラインを設定し、削減目標を設定していきます。
- 2) 各目標項目について、SDGs(持続可能な開発目標)と関連付けて、取組の推進を図っていきます。
- 3) 総二酸化炭素排出量については、これ以上の削減がなかなか難しい状況になってきていることから、経営環境を見据えながら、助成金の活用などを視野に入れ、直接CO₂の削減につながるような設備投資を計画的に行っていきます。

■ 環境経営計画

- 1) SDGsに関する教育を実施し、取組みを推進していきます。
- 2) 些事(些細なこと)の積み重ねを大切にしていきます。
- 3) 誤発報による出動回数の削減に向けた取組みを推進します。
- 4) 社員の改善提案による取組みを積極的に採用していきます。





5. 環境関連法規等の順守状況，訴訟等の有無

5-1. 適用を受ける環境関連法規等とその順守状況

当社に適用される主な環境関連法規について、2023年6月30日付で順守状況を確認した結果、下記のとおり、順守状況に問題点はありませんでした。

- 米沢市火災予防条例：敷地北側に設置してある軽油タンクが少量危険物貯蔵所に該当しますが届出も行われており、漏えい事故等の発生はありませんでした。
- 廃棄物処理法：マニフェスト、契約書の管理は問題ありません。また、マニフェスト発行実績の報告も実施済みです。なお、県外の間処理・最終処分業者については、HPならびに産廃情報ネット等によって、情報を収集することとします。
- フロン排出抑制法：事務所に設置しているエアコンについて、簡易点検を実施しています。
- 自動車リサイクル法：業者に依頼し、適切に廃車処理をおこなっています。

5-2. 訴訟等の有無

境面での訴訟，行政処分等は，創業以来，一度もありません。また，外部からの環境に関する苦情は，過去3年間ありません。



6. 代表者による全体の評価と見直し・指示の結果

二酸化炭素排出量削減を目的とした狭義のマネジメントシステムで見れば、削減実績から見ても、あまり有効に機能しているとは言えないと思います。しかし、「企業価値の向上」を目的とした広い意味でのマネジメントシステムでの有効性であれば、その取組みの価値は大いに評価してもよいと思っています。

世の流れとして、近い将来、今までのように自由に二酸化炭素を排出できない世の中になることは間違いありません。そのときは、その流れにしたがって行くしかありません。それはそれとして、従業員のモチベーションアップにつながるような、かつ、楽しく、前向きに取り組めるような活動を展開して行くべきであると思っています。経営上の課題とチャンスとを踏まえて、SDGs、働き方改革、健康経営など、視野を広げ、企業価値の向上につながるような取組みをさらに推進していく所存です。



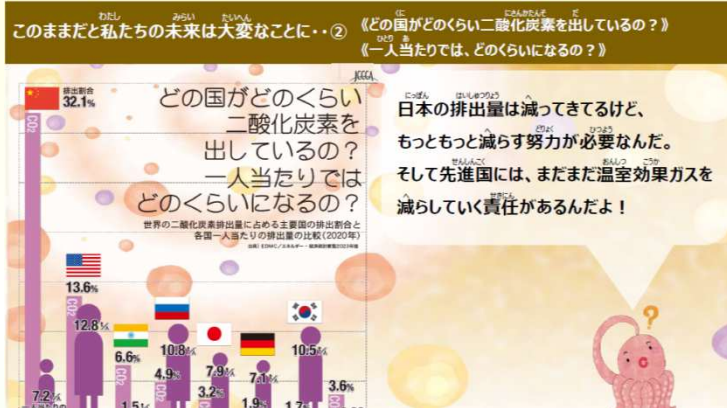
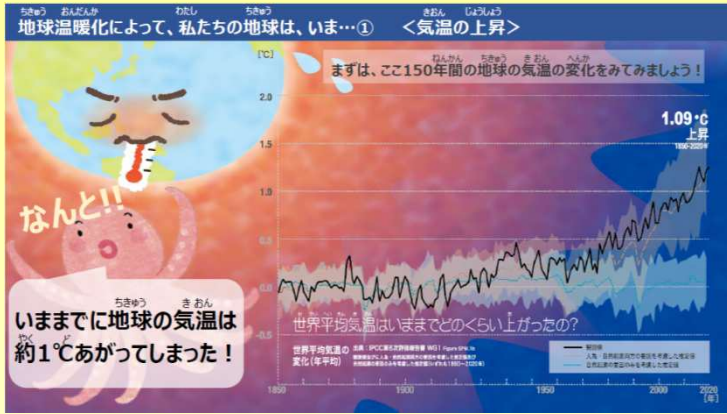
2023年11月20日

代表取締役 武田 誠一郎

＜EA21環境経営システム変更の必要性と主な変更内容＞

- 環境経営方針：変更せず
- 環境経営目標：増改築の影響を考慮した設定とする（無理のない範囲で）
- 環境経営計画：基本的に継続でよいが、従業員から良い提案などがあれば、適宜追加すること。
- 実施体制：社員の退職に伴い一部担当者変更
- 環境経営システム全般：大きな変更点はない。





<アクセス>



かわねたん

米沢市マスコット
キャラクター

環境経営レポートを読んでいただき、おしおしな（ありがとう）！ぜひ、米沢においで下さい。お待ちしております。



おせんちゃん

米沢市マスコット
キャラクター

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、弊社窓口でお申し出いただくか、下記宛ご連絡下さい。
また、当社HP (<http://www.next-alert.co.jp>)、エコアクション21
中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp>) でもご覧いただけます。

〒992-011 山形県米沢市アルカティア1丁目808番地17

東北警備保障株式会社

TEL0238-29-0005 FAX0238-29-0015

